

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	地域情報通信ネットワーク事業特別会計繰出金											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	地域情報化推進費	会計	一般会計	事業コード	140209	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070201	施策名	ICTの活用により利便性の高いサービスを提供する								
	開始年度	平成24年度											
	終了予定年度	平成30年度(特別会計閉鎖に伴い、当該事業も終了)											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)											

基礎情報	事業目的(あるべき姿)	地域情報通信ネットワーク事業特別会計の安定的な運営を図ります。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	地域情報通信ネットワーク事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出します。 【平成30年度で特別会計閉鎖のため、当該事業も廃止】		
	主な経費と具体的内容(N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	繰出金	地域情報通信ネットワーク事業特別会計への繰出金	916,988	
関連事業	地域情報通信ネットワーク事業特別会計各事業			

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	941,263	969,027	971,424		
	②補正予算			△ 161		
	③流充用額	4,860	△ 1,000	△ 46,657		
	④繰越額計	0	0	0	0	
予算と執行の状況	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	946,123	547,952	561,847	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
その他特財	0	420,075	362,759			
主な利用特財(N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	/ 0		
⑤概算人件費	80	80	80	0		
⑥総事業費(①+②+③+④+⑤)	946,203	968,107	924,686	0		
⑦執行額	902,299	889,541	916,988			
執行率(⑦/(①+②+③+④)×100)	95.4%	91.9%	99.2%			

業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	0
活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	繰出金決算額	百万円	902.2/941.3	889.5/969.0	917.0/971.4	/	/	
	単位あたりコスト		-	-	-	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	繰出金により、特別会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)		
	今後の課題及び方向性	平成30年度末をもって、地域情報通信ネットワーク事業特別会計は閉鎖となり、平成31年度から民営化となる。		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課						
	作成責任者	山田 信義						
	事業名	公設地方卸売市場事業特別会計繰出金						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 210605	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 060106	施策名 公設市場等を活性化する					
	開始年度	昭和55年度						
	終了予定年度	平成32年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公設地方卸売市場の円滑な運営を図るための公設地方卸売市場事業特別会計に対する繰出金。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (特別会計への繰出金)		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	公設地方卸売市場事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を一般会計から支出します。 卸売市場内の取引の公正を期するため、業者の指導監督等に要する経費等として営業費用の30%を繰出基準内としている。 価格安定対策事業分、相対出荷促進事業分などは、繰出基準外としている。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	繰出金	公設地方卸売市場事業特別会計への繰出金	1,698	
		繰出金内訳: 基準内 223千円、基準外 1,475千円		
	関連事業	公設地方卸売市場事業特別会計各事業		

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	6,700	6,600	6,400	14,000	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	6,700	6,600	6,400	14,000	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0	
⑤概算人件費		80	80	80	80	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		6,780	6,680	6,480	14,080	
⑦執行額		2,179	3,249	1,698		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		32.5%	49.2%	26.5%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	/	/	/	/
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	2.2/6.7	3.2/6.6	1.7/6.4	/ 14.0	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の安定的な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		特別会計に繰出をすることにより、公設地方卸売市場の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		公設地方卸売市場を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	と畜場費特別会計繰出金											
	会計情報	款	衛生費	項	と畜場費	目	と畜場施設費	会計	一般会計	事業コード	210613	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する								
	開始年度	昭和39年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	と畜場の円滑な運営を図るためのと畜場費特別会計に対する繰出金。											
	対象者	対象者数	単位あたりコスト										
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	と畜場費特別会計運営における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出します。											
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)									
	繰出金	と畜場費特別会計への繰出金(収支不足分)	2,034										
関連事業	と畜場費特別会計各事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,976	1,996	2,000	2,004	
	②補正予算					
	③流充用額	34	10	34		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
	次年度繰越					
財源内訳(①③④内訳)	一般財源	2,010	2,006	2,034	2,004	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	2,090	2,086	2,114	2,084		
⑦執行額	2,010	2,006	2,034			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	/	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		0	/	/	/	/	/	0
		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	2.0/2.0	2.0/2.0	2.0/2.0	/ 2.0	/
		単位あたりコスト		-	-	-	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	特別会計に繰出をすることにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	と畜場を円滑に運営するため、継続します。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	と畜場運営費											
	会計情報	款	衛生費	項	と畜場費	目	と畜場施設費	会計	一般会計	事業コード	210614	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市場等を活性化する								
	開始年度	昭和39年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への負担金）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	と畜場の安定的な運営を図ります。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への負担金）		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	と畜場運営に必要な経費等に対して負担金を支出します。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	負担金	共同運営市(舞鶴、綾部、宮津)で利用量に応じて負担	17,021	
関連事業	と畜場費特別会計各事業			

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	16,219	16,447	15,219	17,862	
	②補正予算					
	③流充用額	△ 34	△ 10	1,802		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	16,185	16,437	17,021	17,862	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人事費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人事費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	16,265	16,517	17,101	17,942		
⑦執行額	14,850	12,761	17,021			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	91.8%	77.6%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	/
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		負担金決算額	百万円	14.9/16.2	12.8/16.4	17.0/15.2	/ 17.9	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に負担金を支出することにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に負担金を支出することにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に負担金を支出することにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		負担金を支出することにより、と畜場の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		と畜場を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	病院事業会計負担金											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費	会計	一般会計	事業コード	410114	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050101	施策名	地域医療体制を充実させる								
	開始年度	平成5年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 病院事業会計への負担金 )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市立病院(市民病院、大江分院)の運営を維持するため、一般会計より必要な経費の一部を補助することにより、病院事業会計の健全な運営を図ります。											
	対象者	対象者数										単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 病院事業会計への負担金 )											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	病院事業会計(市民病院分、大江分院分)への負担金											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)			
		負担金	病院事業会計への負担金							1,246,798			
内訳		市民病院分							(1,083,231)				
		大江分院分							(120,185)				
関連事業	病院企業会計各事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当 予算	①当初	1,158,272	1,203,416	1,254,796	1,310,063		
	②補正予算						
	③流充用額	△ 1,151	0				
	④繰越額計	0	0	0	0		
予算と 執行の 状況	前年度繰越						
	次年度繰越						
	財源内訳	1,157,121	1,203,416	1,254,796	1,310,063		
	一般財源						
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0			
⑤概算人件費	80	80	80	80			
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	1,157,201	1,203,496	1,254,876	1,310,143			
⑦執行額	1,140,974	1,203,416	1,246,798				
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	98.6%	100.0%	99.4%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0		/	/	/	/
	0		/	/	/	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	負担金決算額(市民病院分)	百万円	1,014.6/1,027.8	1,083.2/1,087	1,129.9/1,138.8	/ 1172.6	/	
	単位あたりコスト		—	—	—			
	負担金決算額(大江病院分)	百万円	126.4/130.5	120.2/116.4	116.9/116.0	/ 116.0	0	
	単位あたりコスト		—	—	—			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	企業会計に繰出をすることにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		企業会計(市民病院・大江分院)に負担金を支出することにより、企業会計(市民病院・大江分院)の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		企業会計(市民病院、大江分院)を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課						
	作成責任者	山田 信義						
	事業名	国民健康保険診療所費特別会計繰出金						
	会計情報	款 衛生費	項 保健衛生費	目 診療所費	会計 一般会計	事業コード 410115	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 050101	施策名 地域医療体制を充実させる					
	開始年度	昭和39年度						
	終了予定年度	平成32年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険診療所の円滑な運営を図るための国民健康保険診療所費特別会計に対する繰出金。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	国民健康保険診療所費特別会計における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出する。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	繰出金	国民健康保険診療所費特別会計への繰出金(収支不足分)	6,635	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	7,457	6,383	7,172	6,564	
	②補正予算			△ 537		
	③流充用額	△ 525	△ 1,902			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	6,932	4,481	6,635	6,564	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	7,012	4,561	6,715	6,644		
⑦執行額	6,825	3,190	6,635			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	98.5%	71.2%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	/
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	6.8/7.5	3.2/6.4	/7.2	/ 6.6	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険診療所の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		国民健康保険診療所を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	休日急患診療所費特別会計繰出金											
	会計情報	款	衛生費	項	保健衛生費	目	休日急患診療所費	会計	一般会計	事業コード	410214	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050102	施策名	救急医療を充実させる								
	開始年度	昭和52年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	休日急患診療所の円滑な運営を図るための休日急患診療所費特別会計に対する繰出金																									
	対象者								対象者数					単位あたりコスト													
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）																									
	委託先・実施主体等																										
	事業概要	休日急患診療所費特別会計における歳入と歳出の収支不足分を繰出金として支出する。																									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>具体的な内容</th> <th>H30経費(見込値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>休日急患診療所費特別会計への繰出金(収支不足分)</td> <td>9,578</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>(第2回決算見込み数値)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												項目	具体的な内容	H30経費(見込値)	繰出金	休日急患診療所費特別会計への繰出金(収支不足分)	9,578			(第2回決算見込み数値)					
項目	具体的な内容	H30経費(見込値)																									
繰出金	休日急患診療所費特別会計への繰出金(収支不足分)	9,578																									
		(第2回決算見込み数値)																									
関連事業	休日急患診療所費特別会計各事業																										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	①当初	9,382	9,783	9,630	8,766		
	②補正予算						
	③流充用額	1,151	17,473				
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越						
	次年度繰越						
	財源内訳(①③④内訳)						
	一般財源	10,533	27,256	9,630	8,766		
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0			
⑤概算人件費	80	80	80	80			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	10,613	27,336	9,710	8,846			
⑦執行額	10,533	25,799	9,578				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	94.7%	99.5%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム)	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	実績/当初目標	0		/	/	/	/	/
		0		/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット)	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	実績/当初見込	繰出金決算額	百万円	10.5/9.4	25.8/9.8	9.6/9.6	/ 8.8	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
			/	/	/	/	0	
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		特別会計に繰出をすることにより、休日急患診療所の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		休日急患診療所を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	介護保険事業特別会計繰出金											
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420203	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する								
	開始年度	平成12年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	介護保険法第124条											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	介護保険事業の健全な運営を図るための介護保険事業特別会計に対する繰出金。介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことを目的とする。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	介護給付及び予防給付に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費を一般会計から介護保険事業特別会計に繰出金として支出する。法定負担割合は、介護保険法第124条に基づいている。 人件費相当額は、介護保険事業運営にかかる人件費から法定負担分を除いた分と賦課徴収業務にかかる人件費、認定審査会委員報酬。事務費相当額は、介護保険システム改修にかかる費用と、介護認定審査会のうち委員報酬除く分等。		
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)	
	繰出金	介護保険事業特別会計への繰出金	1,180,742	
関連事業				

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,247,102	1,277,924	1,237,392	1,332,471	
	②補正予算			△ 10,431		
	③流充用額	△ 13,321	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
	次年度繰越					
予算と執行の状況 財源内訳(①③④内訳)	一般財源	1,219,507	1,265,762	1,215,654	1,320,123	
	国支出金	10,236	8,108	7,538	7,335	
	府支出金	4,038	4,054	3,769	5,013	
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,233,861	1,278,004	1,227,041	1,332,551		
⑦執行額	1,110,573	1,159,004	1,180,742			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	90.0%	90.7%	96.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	/	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	繰出金決算額	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			百万円	1,110.6/1,247.1	1,159.0/1,277.9	1,180.7/1,237.4	/ 1,332.5	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない人件費や事務費への繰出しを行うことにより、介護保険事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		高齢化が進むなか、当該繰出金は増加傾向で推移しているが、法定負担分については、介護保険法で定められているものであり、継続していかねばならない。保険料で賄うことができない人件費、事務費への繰出分についても、介護保険事業を円滑に運営していくために継続していく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出金											
	会計情報	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費	会計	一般会計	事業コード	420265	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	050502	施策名	高齢者の生活を支援する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	後期高齢者医療事業の健全な運営を図るための後期高齢者医療事業特別会計に対する繰出金。																									
	対象者								対象者数					単位あたりコスト													
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（特別会計への繰出金）																									
	委託先・実施主体等																										
	事業概要	人件費、その他後期高齢者医療事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出します。																									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>具体的な内容</th> <th>H30経費(見込値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>後期高齢者医療事業特別会計への繰出金</td> <td>1,191,304</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												項目	具体的な内容	H30経費(見込値)	繰出金	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金	1,191,304								
項目	具体的な内容	H30経費(見込値)																									
繰出金	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金	1,191,304																									
関連事業	後期高齢者医療事業特別会計各事業																										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	1,151,330	1,184,081	1,192,734	1,243,867	
	②補正予算			△ 1,430		
	③流充用額	△ 288	5,604			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	963,814	999,674	1,001,797	1,047,385	
	国支出金	333	0			
	府支出金	186,895	190,011	189,507	196,482	
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0	
⑤概算人件費		80	80	80	80	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		1,151,122	1,189,765	1,191,384	1,243,947	
⑦執行額		1,116,690	1,157,788	1,191,304		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		97.0%	97.3%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	/
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	1,116.7/1,151.3	1,157.8/1,184.1	1,191.3/1,192.7	/ 1,243.9	/
		単位あたりコスト		-	-	-	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		繰出を行うことにより、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		後期高齢者医療事業を円滑に運営していくため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課						
	作成責任者	山田 信義						
	事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金						
	会計情報	款 民生費	項 社会福祉費	目 社会福祉総務費	会計 一般会計	事業コード 450274	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 050103	施策名 市民の健康を増進する					
	開始年度	昭和36年度						
	終了予定年度	平成32年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 特別会計への繰出金 )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	繰出金	国民健康保険事業特別会計への繰出金	661,327	
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業			

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	719,651	738,108	654,691	659,340	
	②補正予算			△ 5,959		
	③流充用額	△ 1,186	△ 412			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	403,454	422,038	364,944	376,219	
	国支出金	74,526	73,987	68,687	68,429	
	府支出金	240,485	241,671	215,101	214,692	
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	0.01 / 0	0.01 / 0		
⑤概算人件費	80	80	80	80		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	718,545	737,776	648,812	659,420		
⑦執行額	718,465	687,182	661,327			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	93.2%	101.9%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	/
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	718.5/719.7	687.2/738.1	/654.7	/ 659.3	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		国民健康保険事業を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	農業集落排水施設事業特別会計繰出金											
	会計情報	款	農林業費	項	農業費	目	集落排水費	会計	一般会計	事業コード	510453	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	030502	施策名	下水道等を適切に維持管理する								
	開始年度	昭和61年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農業集落排水施設事業の健全な運営を図るための農業集落排水施設事業特別会計に対する繰出金。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 特別会計への繰出金 )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	農業集落排水施設事業特別会計運営に必要な経費等に対して繰出金を支出する。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	繰出金	農業集落排水施設事業特別会計への繰出金	549,587	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	536,568	530,711	546,357	542,563	
	②補正予算			3,230		
	③流充用額	△ 7,004	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	529,564	530,711	549,587	542,563	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0		
⑤概算人件費	80	80	0	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	529,644	530,791	549,587	542,563		
⑦執行額	524,629	530,302	549,587			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.1%	99.9%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	/
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		繰出金決算額	百万円	524.6/536.6	530.3/530.7	/546.4	/ 542.6	/
		単位あたりコスト		-	-	-		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	特別会計に繰出をすることにより、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	特別会計への繰出金により、農業集落排水施設事業の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)		
	今後の課題及び方向性	農業集落排水施設事業を円滑に運営するため、継続します。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		所見
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	
	予算への反映 【財政担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	上水道事業会計負担金											
	会計情報	款	衛生費	項	上水道費	目	上水道施設費	会計	一般会計	事業コード	540262	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	030501	施策名	安心・安全な水を安定供給する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	上水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、上水道事業会計の財政基盤の安定を図ります。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 企業会計への負担金 )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	上水道事業会計への負担金(平成29年度から簡易水道事業を上水道事業に統合)		
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
		負担金	上水道事業会計への負担金	367,709
関連事業	上水道事業会計各事業			

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	105,062	391,039	379,755	381,335	
	②補正予算					
	③流充用額	1	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	105,063	391,039	379,755	381,335	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費		80	80	0	0	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		105,143	391,119	379,755	381,335	
⑦執行額		105,063	371,245	367,709		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	94.9%	96.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	/	/	/	/
			0	/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		負担金決算額	百万円	105.1/105.1	371.2/391.0	/379.8	/ 381.3	/
単位あたりコスト			—	—	—			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		企業会計(上水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(上水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		企業会計(上水道事業会計)を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	下水道事業会計負担金											
	会計情報	款	衛生費	項	下水道費	目	下水道施設費	会計	一般会計	事業コード	540332	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	030501	施策名	安心・安全な水を安定供給する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	下水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、下水道事業会計の財政基盤の安定を図ります。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 企業会計への負担金 )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	上水道事業会計への負担金(平成29年度から簡易水道事業を上水道事業に統合)		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	負担金	下水道事業会計への負担金	818,781	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	913,465	883,131	876,044	903,233	
	②補正予算			15,611		
	③流充用額	0	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	913,465	883,131	891,655	903,233	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費		80	80	0	0	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		913,545	883,211	891,655	903,233	
⑦執行額		901,654	730,616	818,781		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		98.7%	82.7%	91.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム)	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	実績/当初目標	0		/	/	/	/	/	
		0		/	/	/	/	0	
	活動実績 (アウトプット)	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	実績/当初見込	負担金決算額	百万円	901.7/913.5	730.6/883.1	/876.0	/	903.2	/
		単位あたりコスト		—	—	—			
			/	/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		企業会計(下水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		企業会計(下水道事業会計)を円滑に運営するため、継続します。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	財政運営一般事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費	会計	一般会計	事業コード	810426	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	第6次福知山市行政改革											
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	予算編成、執行管理、決算業務、地方債の発行償還業務など福知山市の財政運営管理に要する経費。			
	対象者	対象者数	単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	委託先・実施主体等	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト			
	事業概要	予算編成、執行管理、決算業務、地方債の発行償還業務など福知山市の財政運営管理に要する経費であり、効率的に執行します。			
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)
		需用費(消耗品費、印刷製本費など)	用度物品、追録代、トナーカートリッジ、予算決算関連冊子印刷など		1,579
旅費		研修会、説明会、府ヒアリングなど		284	
役員費(郵送料、電信・電話料)		郵送料、電話代、ごみ廃棄手数料など		94	
委託料		地方公会計標準ソフトウェア導入にかかるミドルウェア保守業務		155	
使用料及び賃借料	説明会会場使用料など		7		
関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,189	1,950	1,687	1,543	
	②補正予算					
	③流充用額	△ 262	313	456		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	1,927	2,263	2,143	1,543	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	8,064/0	8,064 / 0	/	0 / 0		
⑤概算人件費	64,512	64,512	0	0		
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	66,439	66,775	2,143	1,543		
⑦執行額	1,926	2,128	2,119			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.9%	94.0%	98.9%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				/	/	/	/	
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	/	/	/	/
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	財政課における需用費や旅費、役務費、委託料、負担金など事務的経費であり、必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	財政課における内部事務的経費であるが、効率的に執行している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	当該事業により、財政課の事務は有効に行なえている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		財政課における内部的な事務的経費であり、必要に応じて適宜、執行している。【定性的評価】	
今後の課題及び方向性		財政課における内部的な事務的経費であり、継続していく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課							
	作成責任者	山田 信義							
	事業名	地方債元利償還金							
	会計情報	款 公債費	項 公債費	目 元利償還金	会計 一般会計	事業コード 810429	決算付属資料	頁	
	施策体系	施策コード 070102	施策名 持続可能な財政基盤を構築する						
	開始年度	平成18年度							
	終了予定年度	平成32年度							
	関連計画等								
	根拠法令等	地方自治法							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	過年度に借り入れた長期債について、元利金等償還を基本として、年2回償還(返済)を行っています。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	過年度に借り入れた長期債について、元利金等償還を基本として、年2回償還(返済)を行っています。		
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	償還金、利子及び割引料		5,043,623	
	内訳	元金償還金	4,667,776	
		償還利子	375,847	
	関連事業			

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	5,242,870	5,069,222	5,114,343	5,247,290	
	②修正予算					
	③流充用額	△ 71,357	△ 47,000	△ 59,241		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	5,156,598	4,927,033	4,919,226	5,204,474	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	14,915	95,189	135,876	42,816	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.10/0	0.1 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費		800	800	0	0	
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		5,172,313	5,023,022	5,055,102	5,247,290	
⑦執行額		5,120,588	5,012,287	5,043,623		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		99.0%	99.8%	99.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		定期償還日の償還不履行	回/年	0/0	0/0	0/0	/ 0	0
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		元金償還額	百万円	4,624/4,670	4,579/4,575	4,668/4,712	/	/
		単位あたりコスト		—	—	0.0		
利子支払額	百万円	497/573	433/494	376/402	/	0		
単位あたりコスト		—	—	0.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	過年度に借入れた際の条件により、償還義務は継続し、履行の責任は負っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		借入れを行なった地方債については、システムで管理しており、返済を滞りなく疎漏なく実施している。	
今後の課題及び方向性		今後も計画的に適切に償還を行っていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	地方債繰上償還金											
	会計情報	款	公債費	項	公債費	目	元利償還金	会計	一般会計	事業コード	810431	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成25年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成24年9月の土地開発公社解散に伴い、代位弁済を行った4,996百万のうち、発行した第三セクター等改革推進債(2,996百万円)について定期償還とは別に繰上償還を行うことで、財源の明確化と将来負担の軽減を図ります。										
	対象者	対象者数	単位あたりコスト									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	土地開発公社解散により、福知山市が継承した土地の利活用を進め、土地貸付収入や土地売払収入を財源に、第三セクター等改革推進債償還基金に積立てを行う。定期償還とは別に、繰上償還分に対して基金を充当し、償還を進めている。 平成24年度に発行をした第三セクター等改革推進債(借入額2,996百万円)のうち、繰上償還14億円分について、平成25年度から平成31年度にかけて繰上償還を実施していくものである。										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)					
	償還金、利子及び割引料	第三セクター等改革推進債にかかる繰上償還					160,000					
		長期借入金にかかる繰上償還					57,988					
	補償、補填及び賠償金	長期借入金にかかる繰上償還に伴う補償金					1,253					
関連事業	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業(財政課)											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	200,000	180,000	180,000	518,102	
	②補正予算			△ 20,000		
	③流充用額			59,241		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	59,241	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	230,000	180,000	160,000	518,102	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費		80	80	0	0	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		230,080	180,080	219,241	518,102	
⑦執行額		230,000	150,000	199,241		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	83.3%	90.9%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		年度末返済高	億円	10.9/11.5	7.6/7.6	4.3/4.1	/ 1.1	0
				/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		三セク債の繰上償還累計額	億円	8.8/8.0	10.3/10.0	11.9/12.0	/ 14.0	14.0
		単位あたりコスト		-	-	-		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公社解散に伴い、平成24年度に発行した三セク債30億円の早期返済を進めるために、必須の事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	継承土地の売却を促進し、賃借収入とあわせて活用益を早期に基金に積み立て、同年度に元金の繰上げ返済に充当している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	土地の活用益を把握し、全額を積み立て、積立金残高の範囲内で繰上償還を進めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	当初計画では、平成31年度までに14億円の繰上返済を実施する予定であったが、継承土地の処分が年々困難となっており、平成30年度末では、平成32年度での繰上返済完了を見込んでいる。		
今後の課題及び方向性	繰上返済の終了時期が、当初計画より延びることとなるが、今後の継承土地の売却及び活用状況による収入額を分析し、早期の終了に努めていく。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課							
	作成責任者	山田 信義							
	事業名	予備費							
	会計情報	款 予備費	項 予備費	目 予備費	会計 一般会計	事業コード 810433	決算付属資料	頁	
	施策体系	施策コード 070102	施策名 持続可能な財政基盤を構築する						
	開始年度	平成18年度							
	終了予定年度	平成32年度							
	関連計画等								
	根拠法令等	地方自治法							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地方自治法第217条の規定により、一般会計において予備費は必ず設けなくてはならない。当初予算で議決された当初予算は、目的別に計上された一会計年度の見積りであるが、年度途中における不測の事態により予算の過不足が生じてくることは避けられず、そのたびに軽微な補正予算を組むことは、困難かつ非効率であるため、予備費を設けてこれに対処することとしている。		
	対象者	—	対象者数	—
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	一般会計各目的歳出(款項目)に対して一会計年度あたり最大50,000千円を充用する。 ただし、予備費の用途は憲法第89条による公金の支出制限等、法令上支出してはならない費途に充てることはできない。また法令上支出できる費途であっても議会の否決した経費に充てることはできない(地方自治法第217条第2項)		
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容		H30経費(見込値)
	予備費充用	※予備費充当をした款項目ごとの明細は決算確定後に記載		9,804
関連事業				

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	50,000	50,000	50,000	50,000	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0	△ 9,804		
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	50,000	50,000	40,196	50,000	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0		
⑤概算人件費	80	80	0	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	50,080	50,080	40,196	50,000		
⑦執行額	25,188	34,998	9,804			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	50.4%	70.0%	24.4%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	/	/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		0	/	/	/	/	/	0
		0	/	/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	過去5か年の予算計上額の範囲内で予備費充用を実施し、機動的かつ柔軟な予算執行ができていることから、事業の妥当性と必要性については、これまでも今後も疑念の余地はない。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	充用残額がそのまま一般会計の実質黒字を構成する。他市に比較して、当該予算計上額はやや多額となっているが、水害や豪雨などによる被災頻度が高いため必要な規模であると考えている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	予備費は予見しがたい緊急事態に対し、早急な対応が求められる費途に用いられており、迅速かつ機動的な予算執行を可能にしている本事業の有効性は高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	補正予算を編成すると、専決処分または議会の議決によりこれを成立させ予算を執行することになるが、専決処分は議会軽視を免れず、また議会の議決には時間を要するため、柔軟かつ機動的な対応が要請される場合にはいずれにしても制約が多い。このため、地方自治法で規定された予備費の制度は妥当であり、必要かつ有効なものである。(定性的評価)		
今後の課題及び方向性	災害発生時において、本復旧予算は議会の承認により補正予算を編成・成立させることになるが、応急復旧、災害救助など、迅速な財政出動が必要な場合には、予備費の範囲内で必要な財政出動を発動することが今後も有効である。こうした背景や本市の特性を踏まえ、一般会計の予備費は毎年50,000千円を計上しているが、当面は現状維持で考えている。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	補助金等償還事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	810515	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	過年度に受け入れて決算済となった国府補助金などについて、後年度に返還を要する場合に本事業から適時適切に当該金額を支出する。											
	対象者	国、府、団体、個人など	対象者数	—	単位あたりコスト								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	過年度に受け入れて決算済となった国府補助金などについて、事業実績の確定に伴い、該当補助金が過大交付であったことが明らかとなった場合に、本事業から適時適切に当該金額を返還する。 実務的には、補助金受け入れ担当課が、国府などからの確定通知を受領し、返還に必要な起案を行い、これに財政課が伝票を添付して支払いを行なう。											
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)		項目	具体的な内容						H30経費(見込値)				
	償還金	国府補助金等の返還						64,284					
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	10,000	10,000	10,000	10,000	
	②補正予算			73,086		
	③流充用額	107,672	40,648	3,704		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	117,672	50,648	86,790	10,000	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費		80	80	0	0	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		117,752	50,728	86,790	10,000	
⑦執行額		101,494	35,386	64,284		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		86.3%	69.9%	74.1%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		国府補助金等の返還漏れ	件	0/0	0/0	0/0	/ 0	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0	/	0

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	概算交付を受けた補助金等の年度をこえた精算事業であり、肅々と適正に返還を進めることは行政の所管事項であり、必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	同上
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	同上
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		当然のことながら、実績報告及び所管省庁などの確定通知を待って、受け入れ済みの国府補助金などの必要な返還作業は遅滞なく行っており、失念や遅延をきたさず実施している。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		従来通り、該当があればその都度、適正に速やかに事務処理を進める。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針  担当課の事業の見直し及び予算要求方針  予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課											
	作成責任者	山田 信義											
	事業名	基金運用事業											
	会計情報	款	公債費	項	公債費	目	元利償還金	会計	一般会計	事業コード	810516	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成18年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等												
	根拠法令等	地方自治法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	歳計現金が不足する場合に、基金を繰替運用することで、一時借入金を抑制する。										
	対象者	-			対象者数	-			単位あたりコスト			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	歳計現金が不足する場合に、基金から短期(年度内に償還する条件)の借入れを行ない、日割りの利息を支払う。利息は財産収入として収入し、同額を基金に積み立てて還元している。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
配当予算	①当初	3,000	3,000	3,000	1,000		
	②補正予算						
	③流充用額	0	0				
	④繰越額計	0	0	0	0		
	前年度繰越						
	次年度繰越						
予算と執行の状況	財源内訳(①③④内訳)						
	一般財源	3,000	3,000	3,000	1,000		
	国支出金	0	0				
	府支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0			
⑤概算人件費	80	80	0	0			
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	3,080	3,080	3,000	1,000			
⑦執行額	271	319	0				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	9.0%	10.6%	0.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	繰替運用延べ日数	日	260/-	81/-	/-	/	/	
	単位あたりコスト		1.0	3.9	0.0			
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		0	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	歳計現金の残高を維持するために、最小限の短期借入れは必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	実勢に即して年度末のみの最小限の借入れとしている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	発生利息は一般財源を原資としているが、市の外部ではなく、基金に還流させて基金の安全確実な運用に役立てている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		歳計現金が不足する期間に、実勢に即して最小限の繰替運用を行うことで、歳計現金の残高が維持できている。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		今後も、歳計現金の残高を維持する必要がある場合には適正に実施していく。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課							
	作成責任者	山田 信義							
	事業名	一時借入金利子							
	会計情報	款 公債費	項 公債費	目 元利償還金	会計 一般会計	事業コード 810517	決算付属資料	頁	
	施策体系	施策コード 070102	施策名 持続可能な財政基盤を構築する						
	開始年度	平成18年度							
	終了予定年度	平成32年度							
	関連計画等								
	根拠法令等	地方自治法							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	歳計現金が不足する場合に、金融機関などから短期(年度内に償還する条件)の借入れを行ない、円滑な会計処理を行なう。		
	対象者	対象者数	—	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	歳計現金が不足する場合に、金融機関などから短期(年度内に償還する条件)の借入れを行なった場合に発生する、利息(日割)を支払う。ただし、近年は基金からの繰替運用を行なって資金不足に対処しているため、基金の出納閉鎖を行なう年度末にのみ必要な措置。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
関連事業				

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,000	1,000	1,000	1,000	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0			
	④繰越額計	0	0	0	0	
前年度繰越						
	次年度繰越					
財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人事費	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0		
⑤概算人事費	80	80	0	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,080	1,080	1,000	1,000		
⑦執行額	61	0	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			0		/	/	/	/
	0		/	/	/	/	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	一時借入実施日数	日	10/—	0/—	/—	/	—	
	単位あたりコスト		6.1	—	0.0			
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	歳計現金の残高を維持するために、最小限の短期借入れは必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	実勢に即して年度末のみの最小限の借入れとしている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	発生利息は一般財源を原資としているが、市の外部ではなく、基金に還流させて基金の安全確実な運用に役立てている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成29年度は、一時借入れを行う必要がなかったため決算額はない。 ただ、歳計現金が不足した場合には、必要に応じて一時的に収支不足を補う。(定性的評価)	
今後の課題及び方向性		今後も、歳計現金の残高を維持する必要がある場合には適正に実施していく。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	財務部 財政課						
	作成責任者	山田 信義						
	事業名	三セク債償還基金積立事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 財産管理費	会計 一般会計	事業コード 810520	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 070102	施策名 持続可能な財政基盤を構築する					
	開始年度	平成24年度						
	終了予定年度	平成31年度						
	関連計画等	第6次行政改革実施計画						
	根拠法令等	第三セクター等改革推進債償還基金条例						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公社継承土地などの活用益を第三セクター等改革推進債償還基金に積みたて、繰上償還の原資とする。		
	対象者	対象者数	単位あたりコスト	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	委託先・実施主体等			
	事業概要	土地開発公社解散により、福知山市が継承した土地の利活用を進め、土地貸付収入や土地売払収入を財源に、第三セクター等改革推進債償還基金に積立てを行う。定期償還とは別に、繰上償還分に対して基金を充当し、償還を進めている。平成24年度に発行をした第三セクター等改革推進債(借入額2.996百万円)のうち、繰上償還14億円分について、平成25年度から平成31年度にかけて繰上償還を実施していくものである。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	積立金	第三セクター等改革推進債償還基金積立金	124,146	
関連事業	地方債繰上償還金(財政課)			

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	189,875	186,864	190,822	185,508
	②補正予算	16,992	0	△ 53,109	
	③流充用額				
	④繰越額計	0	0	0	0
前年度繰越					
	次年度繰越				
予算と執行の状況	一般財源	0	0	0	0
	国支出金	0	0		
	府支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	206,867	186,864	137,713	185,508
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.01/0	0.01 / 0	/	0 / 0	
⑤概算人件費	80	80	0	0	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	206,947	186,944	137,713	185,508	
⑦執行額	204,579	173,885	124,146		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	98.9%	93.1%	90.1%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
					/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		元金の繰上償還累計額	億円	8.8/8.0	10.3/10.0	11.9/12.0	/ 14.0	14.0
		単位あたりコスト		-	-	0.0		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公社解散に伴い、発行した三セク債30億円の早期返済を進めるために、必須の事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	継承土地の売却を促進し、賃借収入とあわせた活用益を早期に基金に積み立て、同年度に元金の繰上返済に充当している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	土地の活用益を把握し、全額を積み立てている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		当初計画では、平成31年度までに14億円の繰上返済を実施する予定であったが、継承土地の処分が年々困難となってきたり、平成30年度末では、平成32年度での繰上返済完了を見込んでいる。	
今後の課題及び方向性		繰上返済の終了時期が、当初計画より延びることとなるが、今後の継承土地の売却及び活用状況による収入額を分析し、早期の終了に努めていく。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充